



心がこもった送別集会

3月8日（金）の6校時は、これまで学校の顔として活躍した3年生に感謝の気持ちを込めて1・2年生がそれぞれ出し物を行い、最後の思い出作りをする送別集会を実施しました。

短い練習期間ではありましたが、それぞれの学年が工夫した内容を考え、昼休みや放課後の時間を使って取り組みました。



1年生はまず最初に、男子数名のラップで卒業生への感謝の思いを表現しました。恥ずかしがらずに堂々とステージに立つ姿に、3年生も喜びながら目が釘づけでした。次は、女子がダンスを披露し1曲を3人で最後まで見事に踊り、同じ1年生の女子がそれをステージ下で応援していました。最後は、ピアノ演奏にのせて3年生へのメッセージを朗読し、ステージ上に準備したくす玉が割れ、『卒業おめでとうございます』のメッセージがでてきました。各自それぞれが、自分の持ち味を発揮した出し物でした。





2年生は、寸劇を交えて3年生に関するクイズを出題し、3年生に答えてもらいました。事前にアンケートをとり、生徒会活動や修学旅行、部活動等、幅広いジャンルから問題を考えていました。

一問ごとに、3年生が楽しそうに相談しながら解答を考え、体育館中に笑顔があふれていました。プロジェクターを使用しての視覚効果、クイズの臨場感を醸し出すブザー等の音響効果、そして会場の一体感を生み出す寸劇の効果など、様々な工夫が考えられた内容の出し物でした。



1・2年生の出し物が終わった後は、3年生が、お礼にと歌を披露しました。3年生の中には、前日まで受検の生徒もいましたが、時間を工夫して練習を行っていたようです。合唱祭のときと同じように、真剣な表情で、歌詞を大事にして聞き手に伝わるように歌っている姿には心を打たれました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、会の終了後は、1・2年生が対面で並び、その中央を3年生が歩き退館しました。



1・2年生は、それぞれが自分の役割をはたしました。この送別集会に責任をもつてのぞみ、自分たちも楽しみながら3年生への感謝の気持ちを表現することができていました。また、3年生もその気持ちを汲み笑顔や拍手で応えていました。

3日後はいよいよ卒業式です。卒業式でも、それぞれの生徒が式の目的をしっかりと意識して、3年生を気持ちよく送り出したいものです。